

第2外科

1. 一般的項目： 肺がん手術症例数

▶ 項目の解説

肺がんの罹患と肺がんによる死亡は増え続けており、今後人口構成の高齢化ともないこの傾向は強まっています。肺がんに対する最も効果的な治療は手術であり、手術可能な時期に発見し、手術を中心とした治療をおこなうことが肺がん対策のカギとなります。

肺がんの手術法は近年大きな進歩を遂げています。最近では胸腔鏡を用いた体にやさしい低侵襲手術も導入してきています。

▶ 定義

年間の肺がん手術数です。

コメント

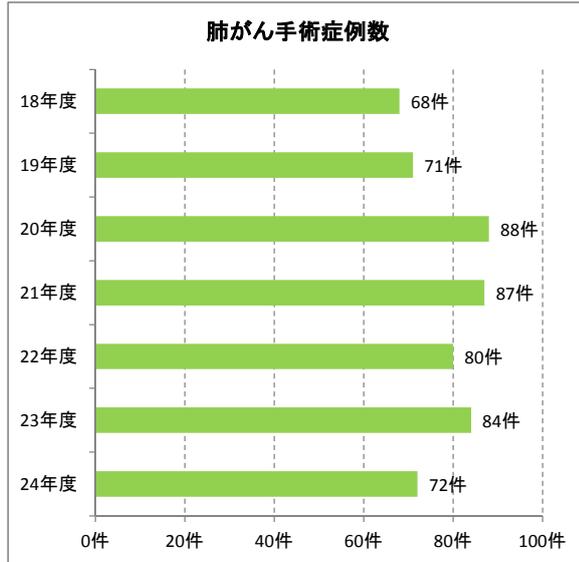
当院は日本呼吸器外科学会の基幹施設であり、今後さらに症例の増加が期待されます。

算式

年間の延手術件数

単位

件



心臓手術症例数

▶ 項目の解説

心臓疾患の外科治療は人工心臓という特殊な補助手段がなければ手術不可能です。

最近では人工心臓を用いない冠動脈バイパス術が可能となりましたが、弁膜症では必須の方法です。

心臓手術には高度のチームワークが必要であり、難度の高い手術が大学病院で行われます。

▶ 定義

年間の心臓外科手術数

コメント

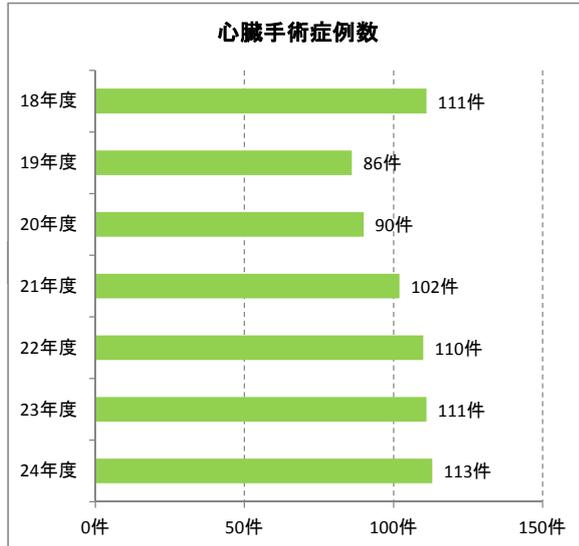
当院は日本心臓血管外科学会の基幹施設であり、手術件数は年々増加しており、今後とも安全で確実な心臓手術を提供できるように努めてまいります。

算式

年間の延手術件数

単位

件



2. 大学病院特有項目： スtentグラフト挿入術件数

▶ 項目の解説

かつては大動脈瘤の治療は開胸や開腹を必要とし、かつ胸部大動脈瘤は人工心臓を用いなければ手術不可能でありました。

しかしながらstentグラフトの開発により、開胸や開腹の必要のない方法で治療が可能となりました。

▶ 定義

年間のstentグラフト挿入術数

コメント

当院はstentグラフト実施施設であり、実施医は各種のstentグラフト実施の認定も受けており、病態によって最適なstentグラフト挿入術が可能であります。

算式

年間の延手術件数

単位

件

